広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

広島女学院は、2025年10月1日
創立139周年（大学開設76周年）を迎えます。

広島女学院大学・障がい学生高等教育支援室の今

支援室の体制変遷

2014年　障がい学生高等教育支援室　開室
室長 副室長 非常勤職員（アルバイト）2名

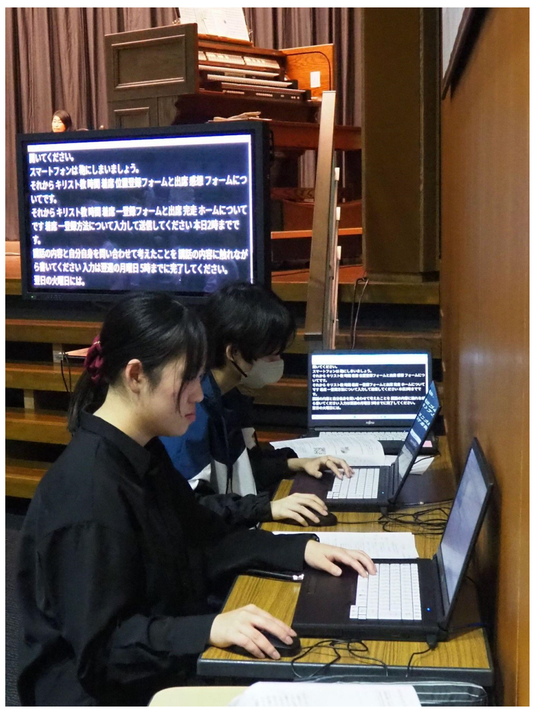
2018年　室長 支援相談員（常勤嘱託職員）1名

2025年　室長 支援相談員退職に伴い、常勤カウンセラーが支援相談員を兼務
支援室で支援する障害学生数:年間20～30名で推移。
障害種別：開室以来、聴覚障害学生が在籍していたが、25年度で初めてゼロとなる。
「キリスト教の時間」での情報保障は継続中。

写真①

写真①障がい学生高等教育支援室の事務室
2024年9月からは月に1回、「障害学生支援情報交換会」をオンラインで開催しており、この事務室から配信を行っています。広島市近郊の大学をはじめ、支援に関わるさまざまな立場の方と情報を共有し、つながりを広げる拠点となっています。

写真②



写真②支援学生ボランティアの活動
毎週火曜日に講堂で行われる「キリスト教の時間」では、支援学生ボランティアが情報保障を担当しています。ウェブベース遠隔文字通訳システムcaptiOnlineを使い、講演やメッセージをリアルタイムで文字にして届けています。このプログラムは学内外に開かれており、全ての方に向けて情報保障を提供しています。

写真③

写真③支援学生ボランティア研修会
学生の学修を支援するアカデミック・サポート・センター（ASC）では、情報保障の活動に参加したい学生を対象に、研修会を行っています。

写真④

写真④小さなカームダウンスペース『ウーム』
『ウーム』は、一人で静かに過ごせる小さなお部屋です。気持ちを落ち着けたいときや、一人になりたいときに、利用できます。

写真⑤

写真⑤学習・休憩室
安心して学習や休憩を行えるように整えられたスペースです。遠隔授業を受けることもできます。集中して学びたいとき、静かに休みたいときに利用できます。飲食も可能です。

写真⑥

写真⑥相談室
障害学生や保護者、支援関係者との面談が行われる小部屋です。

広島女学院大学の設置者変更・大学名変更について

2026年度から、広島女学院大学の設置者は、**学校法人広島女学院**から**学校法人YIC学院**に変更となります。さらに2027年度からは、大学名も**広島女学院大学**から**YIC学院大学**へと変わる予定です。名称や設置者は変わりますが、これからも変わらず障害学生支援に取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いします。（障がい学生高等教育支援室長　山下京子）